

2021年8月1日 午前礼拝 説教:大木英雄牧師  
「サタンとの戦い」

**使徒 5:17~29**

- 5:17** そこで、大祭司とその仲間たち全部、すなわちサドカイ派の者はみな、ねたみに燃えて立ち上がり、
- 5:18** 使徒たちを捕え、留置場に入れた。
- 5:19** ところが、夜、主の使いが牢の戸を開き、彼らを連れ出し、
- 5:20** 「行って宮の中に立ち、人々にこのいのちのことばを、ことごとく語りなさい。」と言った。
- 5:21** 彼らはこれを聞くと、夜明けごろ宮にはいって教え始めた。一方、大祭司とその仲間たちは集まって来て、議会とイスラエル人のすべての長老を召集し、使徒たちを引き出して来させるために、人を獄舎にやった。
- 5:22** ところが役人たちが行ってみると、牢の中には彼らがいなかったので、引き返してこう報告した。
- 5:23** 「獄舎は完全にしまっており、番人たちが戸口に立っていましたが、あけてみると、中にはだれもおりませんでした。」
- 5:24** 宮の守衛長や祭司長たちは、このことばを聞いて、いったいこれはどうなって行くのかと、使徒たちのことで当惑した。
- 5:25** そこへ、ある人がやって来て、「大変です。あなたがたが牢に入れた人たちが、宮の中に立って、人々を教えています。」と告げた。
- 5:26** そこで、宮の守衛長は役人たちといっしょに出て行き、使徒たちを連れて来た。しかし、手荒なことはしなかった。人々に石で打ち殺されるのを恐れたからである。
- 5:27** 彼らが使徒たちを連れて来て議会の中に立たせると、大祭司は使徒たちを問いただして、
- 5:28** 言った。「あの名によって教えてはならないときびしく命じておいたのに、何ということだ。エルサレム中にあなたがたの教えを広めてしまい、そのうえ、あの人の血の責任をわれわれに負わせようとしているではないか。」
- 5:29** ペテロをはじめ使徒たちは答えて言った。「人に従うより、神に従うべきです。」

## (A) サドカイ派の妬み

使徒 5:12, また、使徒たちの手によって、多くのしるしと不思議なわざが人々の間で行なわれた。みなは一つ心になってソロモンの廊にいた。

使徒 5:14, そればかりか、主を信じる者は男も女もますますふえていった。

使徒 5:15, ついに、人々は病人を大通りへ運び出し、寝台や寝床の上に寝かせ、ペテロが通りかかるときには、せめてその影でも、だれかにかかるようにするほどになった。

使徒 5:16, また、エルサレムの付近の町から、大ぜいの人が、病人や、汚れた霊に苦しめられている人などを連れて集まって来たが、その全部がいやされた。

サドカイ派の妬み

使徒 5:17, そこで、大祭司とその仲間たち全部、すなわちサドカイ派の者はみな、ねたみに燃えて立ち上がり、

サドカイ派：家柄が優れ、教養があり、経済的に裕福で、高位のものが多かった。

## 悪魔の起源

イザヤ書 14:12, 暁の子、明けの明星よ。どうしてあなたは天から落ちたのか。国々を打ち破った者よ。どうしてあなたは地に切り倒されたのか。

イザヤ書 14:13, あなたは心の中で言った。『私は天に上ろう。神の星々のはるか上に私の王座を上げ、北の果てにある会合の山にすわろう。』

イザヤ書 14:14, 密雲の頂に上り、いと高き方のようになろう。』

イザヤ書 14:15, しかし、あなたはよみに落とされ、穴の底に落とされる。

天使は神様に仕え、イエス・キリストを信じる者に仕えるために神様によって造られました。しかし天使は

①自由意志があり

②力と知恵に満ちていました。

皆様、①自由意志があり、②力と知恵に満ちているとどうなると思いますか。傲慢になるのです。天使は「いと高き方」のようになろう。いと高き方＝神様のようになろう。と言っているのです。そこで神様から「よみ」に落とされたのです。

天使は、①自由意志があり、②力と知恵がありましたが、傲慢になり、悪魔にされたのです。サドカイ人達は、家柄が優れ、教養があり、経済的に裕福で、高位のものなので傲慢になったのです。

エペソ 2:2, そのころは、それらの罪の中にあつてこの世の流れに従い、空中の権威を持つ支配者として今も不従順の子らの中に働いている霊に従って、歩んでいました。

ペテロは漁師で家柄も低く、教養もない、経済的には貧しく、位も何も無いものが、みんなから尊敬されていることは、サドカイ派の人々にとっては許しがたい事であった。

マタイ 27:18, ピラトは、彼らがねたみからイエスを引き渡したことに気づいていたのである。

イエス様は大工の息子で、教養もなく、経済的にも貧しく、位もないものが皆なから尊敬されていた。これはサドカイ人にとっては許しがたい事でした。

### (B)天使による救出

使徒 5:18, 使徒たちを捕え、留置場に入れた。

使徒 5:19, ところが、夜、主の使いが牢の戸を開き、彼らを連れ出し、

使徒 5:20, 「行って宮の中に立ち、人々にこのいのちのことばを、ことごとく語りなさい。」と言った。

使徒 5:21, 彼らはこれを聞くと、夜明けごろ宮にはいって教え始めた。一方、大祭司とその仲間たちは集まって来て、議会とイスラエル人のすべての長老を召集し、使徒たちを引き出して来させるために、人を獄舎にやった。

使徒 5:22, ところが役人たちが行ってみると、牢の中には彼らがいなかったので、引き返してこう報告した。

使徒 5:23, 「獄舎は完全にしまっており、番人たちが戸口に立っていましたが、あけてみると、中にはだれもおりませんでした。」

使徒 5:24, 宮の守衛長や祭司長たちは、このことばを聞いて、いったいこれはどうなっているのかと、使徒たちのことで当惑した。

主の使い=天使、よい方の天使

マタイ 1:20, 彼がこのことを思い巡らしていたとき、主の使いが夢に現われて言った。「ダビデの子ヨセフ。恐れないであなたの妻マリヤを迎えなさい。その胎に宿っているものは聖霊によるのです。」

マタイ 1:21, マリヤは男の子を産みます。その名をイエスとつけなさい。この方こそ、ご自分の民をその罪から救ってくださる方です。」

マタイ 1:22, このすべての出来事は、主が預言者を通して言われた事が成就するためであった。

マタイ 1:23, 「見よ、処女がみごもっている。そして男の子を産む。その名はインマヌエルと呼ばれる。」(訳すと、神は私たちとともにおられる、という意味である。)

良い天使は神様の言葉を語ります。

使徒 12:6, ところでヘロデが彼を引き出そうとしていた日の前夜、ペテロは二本の鎖につながれてふたりの兵士の間で寝ており、戸口には番兵たちが牢を監視していた。

使徒 12:7, すると突然、主の御使いが現われ、光が牢を照らした。御使いはペテロのわき腹をたたいて彼を起こし、「急いで立ち上がりなさい。」と言った。すると、鎖が彼の手から落ちた。

使徒 12:8, そして御使いが、「帯を締めて、くつをはきなさい。」と言うので、彼はそれとおりにした。すると、「上着を着て、私について来なさい。」と言った。

使徒 12:9, そこで、外に出て、御使いについて行った。彼には御使いのしている事が現実の事だとはわからず、幻を見ているのだと思われた。

使徒 12:10, 彼らが、第一、第二の衛所を通り、町に通じる鉄の門まで来ると、門がひとりでに開いた。そこで、彼らは外に出て、ある通りを進んで行くと、御使いは、たちまち彼を離れた。

良い天使が使徒たちを救った。

使徒 5:24, 宮の守衛長や祭司長たちは、このことばを聞いて、いったいこれはどうな  
って行くのかと、使徒たちのことで当惑した。

いったいこれはどうな  
って行くのかと、使徒たちのことで戸惑った。

戸惑う = 思案に暮れる、途方に暮れる事

### **(C)イエス・キリストを宣べ伝える使徒たち**

使徒 5:25, そこへ、ある人がやって来て、「大変です。あなたがたが牢に入れた人たちが、宮の中に立って、人々を教えています。」と告げた。

使徒 5:26, そこで、宮の守衛長は役人たちといっしょに出て行き、使徒たちを連れて来た。しかし、手荒なことはしなかった。人々に石で打ち殺されるのを恐れたからである。

使徒 5:27, 彼らが使徒たちを連れて来て議会の中に立たせると、大祭司は使徒たちを問いただして、

使徒 5:28, 言った。「あの名によって教えるはならないときびしく命じておいたのに、何ということだ。エルサレム中にあなたがたの教えを広めてしまい、そのうえ、あの人の血の責任をわれわれに負わせようとしているではないか。」

使徒 5:29, ペテロをはじめ使徒たちは答えて言った。「人に従うより、神に従うべきです。」

使徒 5:33, 彼らはこれを聞いて怒り狂い、使徒たちを殺そうと計った。

イエス・キリストのことを宣べ伝えることはよいことです。イエス・キリストを信じればよいのです。サドカイ派の人々は怒り狂ったのです。

エペソ 2:2, そのころは、それらの罪の中にあってこの世の流れに従い、空中の権威を持つ支配者として今も不従順の子らの中に働いている霊に従って、歩んでいました。

悪魔の手下は悪霊です。悪魔は悪霊を用いて、イエス・キリストを宣べ伝える人に対して怒り狂うのです。

#### (D)ガマリエルの弁明により使徒たちは助けられる。

使徒 5:34, ところが、すべての人に尊敬されている律法学者で、ガマリエルというパリサイ人が議会の中に立ち、使徒たちをしばらく外に出させるように命じた。

使徒 5:35, それから、議員たちに向かってこう言った。「イスラエルの皆さん。この人々をどう扱うか、よく気をつけてください。

使徒 5:36, というのは、先ごろチウダが立ち上がって、自分を何か偉い者のように言い、彼に従った男の数が四百人ほどありましたが、結局、彼は殺され、従った者はみな散らされて、あとかたもなくなりました。

使徒 5:37, その後、人口調査のとき、ガリラヤ人ユダが立ち上がり、民衆をそそのかして反乱を起こしましたが、自分は滅び、従った者たちもみな散らされてしまいました。

使徒 5:38, そこで今、あなたがたに申したいのです。あの人たちから手を引き、放っておきなさい。もし、その計画や行動が人から出たものならば、自滅してしまうでしょう。

使徒 5:39, しかし、もし神から出たものならば、あなたがたには彼らを滅ぼすことはできないでしょう。もしかすれば、あなたがたは神に敵対する者になってしまいます。」彼らは彼に説得され、

神様はガマリエル（パリサイ人）を用いて使徒たちを守られました。

使徒 5:41, そこで、使徒たちは、御名のためにはずかしめられるに値する者とされたことを喜びながら、議会から出て行った。

使徒 5:42, そして、毎日、宮や家々で教え、イエスがキリストであることを宣べ伝え続けた。

#### 結論

①神様はどうして天使を用いて使徒たちを救ったのか？

②神様はどうしてガマリエルを用いて使徒たちを救ったのか？

サタンの戦術は「死」です。ローマのクリスチャンはカエサルを神として礼拝すれば生かしてやる。しかしイエス・キリストを神として礼拝するものを死刑にするとおどしました。しかしローマのクリスチャンは死刑を恐れなかったのです。

ヨハネ 11:25, イエスは言われた。「わたしは、よみがえりです。いのちです。わたしを信じる者は、死んでも生きるのです。

イエス・キリストを信じる者は殺されても、キリストの再臨の時に復活して永遠に生きることが出来るからです。この信仰がサタンに勝利する信仰です。

【説教:大木英雄牧師】